

第37回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」一般の部 受賞者一覧

賞名	氏名	歌	県名
1席	中村 仁彦	われを置きポルトガルツアーへ行く妻のバケツリストの最後が消える	福岡県
2席	今村 明美	おはようの「お」からほどけて君のそば満ち足りている今朝の温もり	兵庫県
3席	田崎 千草	だけどねえとその先が出ぬ母を背に明日発つ夕のコスモスあかし	京都府
4席	今 貴子	ジュバイツアーになりたかったわたくしは午後の日差しの中のお婆さん	青森県
5席	関根 道存	祖父母父母四人の遺影ある部屋に貰って来た子猫を放つ	宮城県
入選	あさと 愛子	出版部のテーブル借りて校正す静かな時を活字と共に	沖縄県
入選	清水 昭男	書庫の海に錨を下ろす舟のごと五十年経し独和辞典は	兵庫県
入選	荒井 幸江	空の駅余部鉄橋見上げれば最終列車が銀河を横切る	兵庫県
入選	持田 憲子	近道をしたのね吾子はスモックにオナモミ四つ付けて帰りぬ	広島県
入選	黒木 淳子	炎天下わたくしを待ちわたくしのうしろ姿を見送るポスト	大阪府
入選	片倉 伸明	五十四年手巻きに動く腕時計義父くれしとき義父は貧しく	千葉県
入選	末永 拓男	近頃は息子が年寄臭いことばかり言うよと百三の叔母は	兵庫県
入選	松下 孝裕	横柄に啼いては窓を開けさせる猫も神妙になる朝帰り	兵庫県
入選	寺田 愛子	何もない日のめでたさを祝うごと夫は自慢の赤飯を炊く	大阪府
入選	菊池 哲也	雨あがりかかれる虹が美しくどんな嘘でも消えさうな街	岩手県
入選	河野 真理	こんな時は本を読もうか読むしかないそれしかもはや残されていない	神奈川県
入選	鷹尾 耿之介	水辺では生のやりとり蝌蚪と驚弱きが強きをささえる定め	兵庫県
入選	山田 麦	銀河系の渦をぐるりと脱ぎ捨てて体ひとつで会いに行くから	兵庫県
入選	岡崎 祥枝	ジャケットの闇にしまはれ手品師の鼓動聞きつつ鳩は出を待つ	東京都
入選	岡野 はるみ	お母さんが最初にさがすと娘に言われ悔しいがさがす叱った猫を	大阪府
佳作	友井 七実子	「犬」の文字想はセ夕の径を行く <sup>うから</sup> 家族のごとき愛犬と人	静岡県
佳作	富崎 泰亘	各地からサッカーチームがやってくる「駅前不動産スタジアム」鳥栖へ	佐賀県
佳作	福井 千賀子	黄味ふたつ炊きたてごはん卵かけ月命日の夫の忌の膳	兵庫県
佳作	小池 隆子	今ひとたび小野の浄土寺たづねたし阿弥陀如来を夕映えの刻に	兵庫県
佳作	岩本 幸久	ぽつねんと咲いておるなり男郎花背中で語ると言いたげなやつ	広島県
佳作	藤伊 花子	“おねえちゃん、”と呼び来し叔母の身罷るを朝一番の電話告げくる	山口県
佳作	木立 徹	ゆるやかに夏の光の刺繍糸ほどけてふいに銀やんま飛ぶ	青森県
佳作	山端 なつみ	ずっと横並び静かに去った孫そうあれきつと背比べだな	兵庫県
佳作	高橋 圭子	モンブラン大好きだった父の忌に黄のモンブラン茶のモンブラン	青森県
佳作	宮当 正代	お母さん叔母の墓石を見つけたよ 田川伊田駅見下ろす所	兵庫県
佳作	田中 春代	どんな日も洗濯に出すくつ下は揃へる夫と楽しむ老い先	兵庫県
佳作	上村 佳子	亡き夫と白髪の多さ比べつつ日傘男子とすれ違いたり	兵庫県
佳作	部谷 さをり	手料理がうまくなったとほめる父五十六でも子どものわたし	奈良県
佳作	松本 進	ホルダーに何の鍵だか思い出せぬ鍵ひとつあり静かに錆びる	山口県
佳作	角谷 陽子	夫とわれ試飲セットを分け合えり名月の夜の奈良の地ビール	京都府
佳作	松本 暁	ひな四羽を育て上げたるコフノトリの親鳥ボツンと刈田に佇てり	京都府
佳作	鎌田 博文	西窓に大きな帆船飾らるる海のやうなる家をよぎれり	北海道
佳作	埜藤 裕子	背中には黒い太陽描かれてひとりぼっちの太陽の塔	兵庫県
佳作	三村 時枝	山越えて来年も来いイノシシよ負けっぱなしの栗合戦せん	兵庫県
佳作	花田 敦子	はるかなる萬葉の世にも咲きしとふもぢずり登るてんたう虫よ	島根県
佳作	野中 暁	遠ざかる記憶の中の肩車コスモス畑に幼らの声	佐賀県
佳作	辻本 和美	百年を生きた桜のその跡に <sup>とぎ</sup> を告げない道標が建つ	兵庫県
佳作	白澤 友実	履歴書の欄のすべてを埋めている元教員の「元」を取りたくて	鹿児島県
佳作	佐藤 一央	ビッグバンかくありけむと思はせて膨らんでゆく乾燥ワカメ	静岡県
佳作	鯨本 ミツ子	曲の中泳ぐようなるコンサートの指揮者にあわせ我も傾く	京都府
佳作	瀬戸口 真澄	唇を噛み天井を睨んでた生前の夫のあの一場面	福岡県
佳作	入倉 藤子	縁台に子等は集まり将棋さす床屋の爺さん先生になる	静岡県
佳作	藤原 俊太郎	語らぬも寂しかりしや <sup>ひとりご</sup> 一人娘は今三人の母となりにき	兵庫県
佳作	村上 秀夫	とりあえずどんなうたにも褒め言葉できるようにわれは中年	山形県